長崎倶楽部

No.40
2011.1.25

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 新宿区四谷1-10-2-412 tel:03(5366)4888 http://www.k2.dion.ne.jp/~nkenjin/ 発行人/山内 賢明

目次

- 巻頭インタビュー31 ／中村法道 …… 1
- 私と長崎県人クラブ …… 6
- ひと …… 10
- 新刊紹介・DVD 紹介 …… 11
- TOPICS …… 12
- 新人会員自己紹介 …… 17
- お悔やみ …… 17
- 長崎関連イベント予告 …… 17
- 講演録／小坂文乃 …… 18

題字：吉田 佳広

巻頭インタビュー 31
私と長崎

中村法道

長崎県知事

人が輝く 産業が輝く 地域が輝く――
この3つを柱に県の活性化を進めています



平成22年3月に長崎県知事に就任して多くの課題に取り組む日々。常に最終決断を迫られる緊張の中で、インタビューに応じた中村法道知事には悠揚迫らぬ風格と気さくさが漂う。硬軟併せて、ざっくばらんにお話を聞くことが出来た。

（2010年11月1日取材
聞き手：牧山康敏、写真：宅島正二）

◆◆◆

―― 知事に就任されてから慌しい毎日と思いますが、今のご心境から伺います。

中村知事 あっという間の8カ月という感じがします。3月2日に就任し、いろんな課題を金子前知事から託されました。正直言って、もう少しはゆとりがあるかと思っていましたが、九州新幹線西九州ルート問題や諫早湾干拓の開門調査問題、さらには長崎県庁舎の整備など出口が見えない中で、国への要請活動などに追われています。いずれも長年の課題ですから時間をかけて取り組む以外にないとは考えています。正直言って県民の皆さんにもご心配をおかけしているのではないかと思っています。

―― 知事になられる前は副知事でしたが、知事と副知事の違いはどうですか。

知事 私はこれまでの知事とは身

悩みは県内の人口減少で本土が離島の受皿になれず、雇用の場を如何に確保していくか大きな課題。

地域産業の振興を図り安心して働いてもらうための地域づくりが大切です。





近な所で仕事をしてきました。高田元知事のときは秘書として、また金子知事時代は部長や副知事として仕えました。当時は「トップは孤独で大変だな」と思っていましたが、いざ自分がその立場になると、やはり最終決断は自分の心に止めて決めないといけないと改めて痛感しています。

―― 課題が多い中で今、最も重点をおいて取り組まれていることは何ですか。

知事 一番大きな問題というか悩みは県内の人口減少に歯止めがかからないことだと思います。昭和40年から平成17年まで県の人口は16万2千人減少し、そのうち離島は15万6千人減少しています。県の大切な財産である離島地区からの人口流出が激しく、本土がその受け皿になりえていないことが問題です。本県の基幹産業である水産業や第二次産業が停滞して働く場がない。この雇用の場を如何に確保していくか、そのためには産業の振興しかないと思っています。地域産業の振興を図り地域の中で安心して働いてもらうことしかない。手っ取り早いのは企業誘致ですが、これもなかなか難しい。特に内陸部などでは軽薄短小型の立地を満たす土地が見つからない。水の確保の問題などもあります。

◆◆◆ 地場産業には生産設備の新設などで特別支援措置

―― そうなりますと地場産業の育成強化が課題ということですね。

知事 地域の産業を育て強化していくことが重要です。まず地場産業では技術の高度化を図ること。そのために生産設備の新設や生産ライン増設などに県として支援措置を講じています。県外から誘致する企業と遜色のないような優遇措置をとっています。その意味でも中小企業の皆さんにはこうした支援措置を大いに活用していただきたいと思います。

―― 長崎県といえば観光立県でもあります。この観光面での取り組みはどうですか。

知事 県としては観光産業にも力を入れていかなければなりません。平成22年はＮＨＫ大河ドラマ「龍馬伝」で前年を上回る大きな効果がありました。この後が大変です。23年には九州新幹線鹿児島ルートが全線開通します。九州に入ってきたお客さんを「横軸」の長崎までどうやっておいでいただくかの仕掛けが大事です。いわゆる新幹線の「縦軸」だけを素通りされたのではどうにもなりません。そのために「２０１１交流拡大プロジェクト」を立ち上げて取り組んでいるところです。

◆◆◆ 東アジアをターゲットに貿易振興や観光客誘致

―― どういう内容ですか。

知事 長崎の教会群、ハウステンボス、平戸のオランダ館復元、島原半島のジオパーク、五島での電気自動車とカーナビを組み合わせた「ＥＶ＆ＩＴＳ」（エビッツ）計画。さらには地域の食材を活用した食文化などを組み合わせて情報発信していきます。また対馬の観光資源、魏志倭人伝の歴史の島・壱岐での長崎県埋蔵文化財センタや一支国博物館の活用などです。こうした取り組みで中国や韓国、台湾など東アジア地区からのお客さんを迎え入れようという具体的な取り組みです。韓国からのお客さんは一時ウォン安で半減しましたが、今は大分回復しているようです。中国は個人のビザが７月に大幅に緩和されましたので今後期待できるでしょう。また、２０１１年は孫文らが清朝を打倒した辛亥革命からちょうど１００周年です。というのも、この孫文を資金面で終生支えたのが長崎出身の梅屋庄吉です。辛亥革命１００周年と梅屋庄吉に光を当てて情報発信するなど企画を考えているところです。特に東アジアをターゲットにして貿易振興、観光客の

◆プロフィール　**中村法道**氏

１９５０年11月長崎県南島原市生まれ。73年長崎大学経済学部卒と同時に長崎県庁に入庁、96年企画部国際課長、97年福祉保険部県立病院課長、99年企画部企画調整課日蘭交流４００周年事業推進室長、２００１年総務部秘書課長、02年対馬市庁、04年農林部長、07年総務部長、09年副知事を経て２０１０年３月長崎県知事就任。

誘致に力を入れていきたい。

―― 観光は立派な産業と位置づけることが出来ますが、他にアイディアは。

知事 観光客の誘致から見ると、本県はクルージング船（大型の寄港型観光船）の寄港が２００７～８年は全国トップで、横浜や神戸港より多いのです。これから長崎港発着のクルージングも提案していきたいと考えています。長崎港の女神大橋は海上65ｍあり、横浜ベイブリッジの55ｍより高く、クイーンメリー号など超大型客船でも通過することができます。寄港した船上からはグラバー園が真正面に見えるなど、景観も素晴らしいとの評価もあります。また、環境・新エネルギー、浸透膜技術、風力発電、光を蓄える蓄光技術などを活用し、これらの技術シーズを産業育成に生かす、いわゆる「ナガサキ・グリーンニューディール」にチャレンジしたいと考えています。

◆◆◆ 生まれは南島原市の有家で漁師の三男坊です

―― やや堅い話が続きましたので、話題を変えて中村知事の生い立ちなどをお聞きします。お生まれは長崎県南高来郡有家町、今の南島原市ですね。

知事 島原は農業の地ですが、私は漁師の家に生まれました。５人兄弟の三男坊です。上の３人が男です。家の前はすぐ海です。小さい時から父親が漁に行くのを見送ったり迎えたりの生活でした。当時はワカメ採りの解禁日には学校が休みになったものです。その時は私が船頭役で艫をこぎ、親父がワカメを採る。おふくろが大きな握り飯を作ってくれて、船の上でしょっぱい手で食べたのが思い出されますね。台風が来ると島原に船を避難させるのですが、そんな時には多くの方に助けていただきました。それに「がんば」釣りもよくやりましたよ。地元ではふぐのことを「がんば」といいます。「がんば」の「がん」は「棺桶」のことで、「がんば（棺桶を）用意してでも食べたい」「死ぬ目にあっても食べたい」ということを意味します。それだけふぐが美味いということですね。

―― お二人の兄さん達は。

知事 長兄は中学卒業と同時に集団就職で家を離れ、次兄は家を離れて夜働いて昼間の高校に通学。家は一本釣りの漁師で貧しかったので、私は兄２人に助けてもらいました。２人の兄がいなかったら今の自分はないと思っています。

◆◆◆ 小学校・中学校の試験は全て一夜漬けでした…

―― 幼少の頃は真面目な勉学少年？　それとも腕白少年？どちらでしたか。

知事 小中学校の頃は学校以外ではほとんど勉強しませんでしたね。小学校、中学校の試験は全て一夜漬けでした。それに相当な腕白でしたよ。兄がケンカしているのを見つけると、石を投げて手助けしては教頭先生に目玉から火が出るくらいこっぴどく叱られたものです。

―― 当時はどんな夢をもっていましたか。

知事 小さい頃は軍人さんになろうと思っていましたね。将来は防衛大学校に進もうと考えたこともありましたが、当時は身長が低くて早々と諦めてしまいました。しかし、高校生になると急に身長が伸びたんですよ。手に職をつけないといけないと言われ、佐世保高専に行こうと思ったこともありましたが、通学が大変で、結局、普通高校に進学しました。長崎大学では経済学部に入りました。

◆◆◆ 商社マンになる積りが友人に誘われ地方公務員

―― それで大学卒業後は長崎県庁に入られたわけですね。

知事 もともと役人になろうとは思っていませんでした。商社マンになるつもりで商社の試験にも幾つか合格したのですが、友人が地方公務員試験を受験するというので、私も一緒に受けたところ、合格しました。２人の兄は家を出ているし、親父も当時は身体を壊していたので、私一人ぐらいは地元に残っていれば親も安心すると思い県庁に決めたわけです。

―― 最初の配属は。

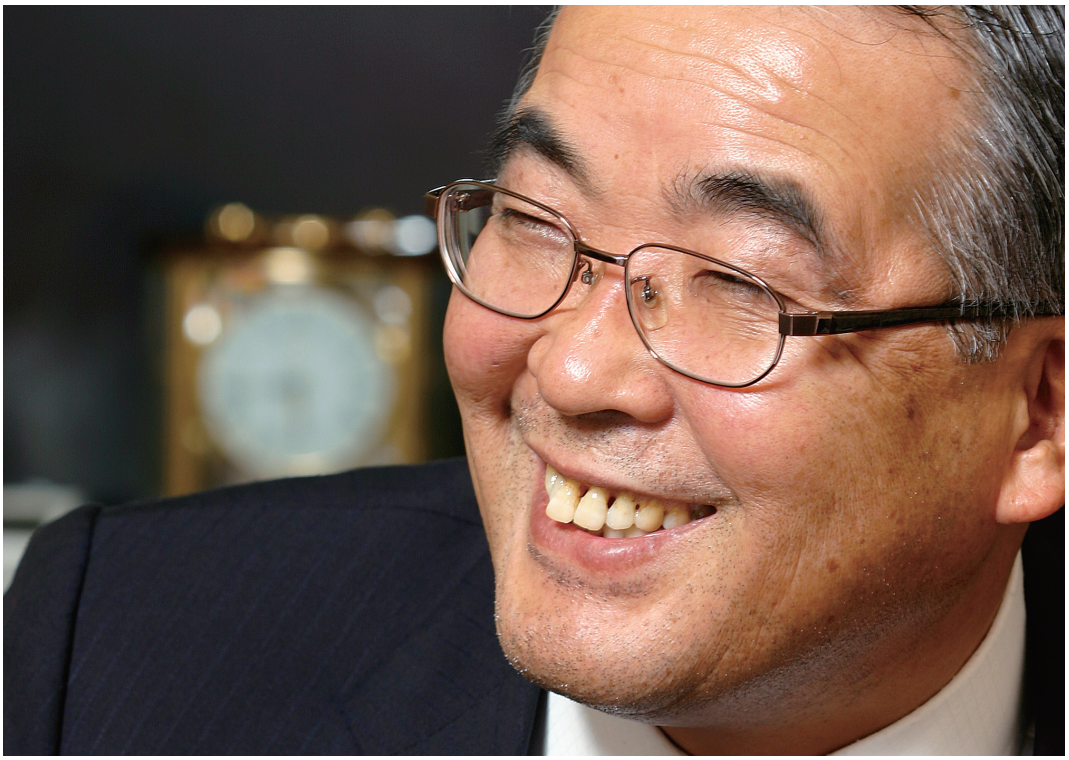
知事 最初は税務課です。税金をいただく部署で、おカネの大事さを分からせようとの思いがあったのかもしれません。その後、本庁に長くいましたが、平成14年からは対馬支庁で２年間勤務しました。ここは楽しかったですね。対馬の活性化のために何をやるか、地域の皆さんと一緒にいろいろ取り組みました。島には素晴しい自然や独特の文化、生活があり、時間の流れが違うような気がしたものです。そこで具体的に取り組んだのが「体験型観光ツアー」計画でした。スキューバダイビング





家は一本釣りの漁師で貧しかったので２人の兄に助けてもらいました。ワカメ採りの時期には私が櫓を漕いで親父を手伝っていました。

最初の配属は税務課でお金の大事さを学ぶ。
楽しかった対馬時代、体験型ツアー企画も。



や山歩きのインストラクター、観光案内の人などと話し合いました。観光客に現地でいろんな体験をしてもらおうというものです。パンフレットなども作成しましたが、中途で転勤になり、これは残念でしたね。

◆◆◆ 失敗談も多く、地方交付税の計算を間違えたり…

――ところで若い頃の失敗談はありませんか。失敗から学ぶといいます。

知事　ありますよ。始末書は何枚も書きましたね。地方課の頃ですが、地方交付税の計算を間違えて何千万円かを国からもらい損ねました。当時の長崎県は全国に先駆けてコンピューターを導入して交付税額なども計算出来るようになっていましたが、補正係数のデータの入力を一つ間違えてしまい、何千万円かもらい損ねたわけですよ。その分は後年度で調整出来るのですが、予算を年度計画に組み入れている市町村からはえらく怒られましてね。清算が済むまでその部署に残してくれと頼んだのですが、替えられました。また失敗すると困ると上司が思ったのかもしれませんね（笑）。

◆◆◆ 離島の航路対策には支援策を講じていく

――また話を行政に戻して伺います。長崎県といえば離島が多い。特に本土と離島間の海上交通運賃の格差が離島にとっては死活問題です。

知事　おっしゃる通りで航路運賃問題は大きな課題です。同じ距離でも本土間で移動するのと離島の移動では運賃の差があります。この差は競争上でも離島には不利です。この航路の運賃格差の是正のため、本県では他県にないような措置を講じています。例えば、運航会社のジェットフォイルやフェリーが老朽化や定期修理などでドック入りする場合や、更新フェリーの建造などには県が公費で支援しています。それによる減価償却の軽減分などを運賃値下げに反映するよう運航会社に伝えています。その結果、五島航路は23年4月から20％の運賃値下げが実現します。その次には壱岐・対馬航路を予定しています。

また、航路対策だけでなく、高度情報社会の中で通信基盤の整備なども民間企業だけに任せるとインフラ整備が遅れることもあるので、県としてもしっかり取り組んでいます。離島ならではの苦しみがあるのも承知しています。

◆◆◆ 誘致企業で評判の良い県内での採用労働者

――企業誘致なども含めて産業や観光の活性化策について改

水とともに輝く
三輝工業株式会社
代表取締役 木戸紀雄
（長崎市出身）
URL http://www.sanki-kogyo.com

本　社　〒103-0004　東京都中央区東日本橋3-10-14 サンライズ橋8F　☎03(3667)3041〔代〕　FAX03(3667)8268　E-mail:ho@sanki.biz-web.jp
千葉工場　〒289-1107　千葉県八街市八街は1-59　☎043(443)9711〔代〕　FAX043(443)9884　E-mail:sanki-fac@smile.ocn.ne.jp
佐倉工場　〒285-0812　千葉県佐倉市六崎560-3　☎043(481)2101〔代〕　FAX043(481)2102　E-mail:sakura@sanki.biz-web.jp

めてお聞きします。

知事　長崎に立地した企業はキヤノンを始め多くありますが、異口同音に言われるのは「長崎で採用した従業員は良い人ばかりでよく働いてくれる」と高く評価していただいています。有り難いことです。前にも話しましたが、これからは成長著しい東アジアの活力を県内にどう取り込んでいくかです。平成22年4月に「アジア・国際戦略本部」を立ち上げました。県産品の輸出や観光客の導入などビジネスチャンスをどう生かしていくかがキーワードです。

◆◆◆――地域の活性化で優れたアイディアに1億円

――地域の活性化が課題ですね。

知事　市町村合併が進んできました。地域の活力がなくなっているのも事実です。島部では「限界集落」になっているところもあります。地域の人が地域づくりに力を入れることが大切です。行政だけでは難しい面があります。地域が元気にならないと県の活性化もないと思っています。県としては地域活性化のためのアイディアを募集しており、一番優れた提案には1億円の助成をします。「がんばらんば長崎」地域づくり支援事業として平成23年度から実施します。これには期待していますよ。

◆◆◆――人が輝く　産業が輝く　地域が輝く――を基本に

――知事さんが目指す県のキャッチフレーズは何ですか。

知事　県の基本的方向として

1　人が輝く

2　産業が輝く

3　地域が輝く

この3つを柱として県の活性化を進めていきます。

痛みを抱えている人が元気を取り戻して活躍し、安心して暮らしてもらえることが第一で、そのために敏感に対応できる県政を進めていきたいと考えています。

◆◆◆――平成26年の国体など県内での行事が相次ぐ

――今後、長崎県下では平成26年開催の国体を始め行事が目白押しですね。

知事　平成24年には全国和牛能力共進会とジオパーク国際ユネスコ会議、25年には全国の高校総合文化祭とインターハイ、そして26年には国民体育大会が県下で開催されます。こうした大きなイベントをチャンスとして県が元気を取り戻すようにしていきたいですね。また、文化面では行政はチャンスを作る場を与えるだけですが、ながさき音楽祭など文化によるまちづくりを県下各地区で根付かせていければいいなと思っています。

――ここで県の職員に対する期待と注文を。

知事　仕事に自信と強い気持ちを持って取り組んで欲しい。何としてもこうしたいと思うとお互い通じるものですよ。机上の勉強だけでなくいろんな体験をすることも大切です。野武士のような強い気持ちで臨むこと。いろいろな体験をすると遠回りのように見えても自分の中では役に立つものです。

――県下の青少年に対する希望はどうですか。

知事　自分達が暮らしていく上で、一人では生きていけないということです。私も家族を始め地域の人、周りの人に支えられ助けられてきたので、特にそういうふうに強く感じます。周りの人に支えられて生きていることを忘れないで、他人に優しくできるような人になって欲しいと思いますね。

◆◆◆――座右の銘は西郷隆盛の「敬天愛人」です

――中村知事ご自身の座右の銘、人生訓を教えてください。

知事　西郷隆盛の「敬天愛人」です。天は何でも知っているし見ている。その恐れの気持ちを忘れてはいけないということ。天を敬い、人を愛していくこと、と勝手に思っています。

――長崎県人クラブの会員を始め長崎出身の皆さんに伝えたいことは。

知事　中央で活躍されておられる方々ばかりで、いろんな情報やビジネスチャンスの近くにおられると思います。長崎県は就職問題や産業立地など、いろいろ課題を抱えています。こうした現状を見ていただき、いろいろなご意見など、ふるさとに目を向けていただきたいと考えています。

――長時間、大変有意義なお話を有り難うございました。ますますご活躍下さい。

〈インタビューを終えて〉

ざっくばらんな人柄

東京出張の多忙な合間を縫って約1時間、真剣且つざっくばらんにインタビュー出来た。大学卒業以来、ずっと県庁勤めにもかかわらず役人臭は全く感じられない。中村さん自身「漁師の子ですから」と屈託なく語り、飾り気がない。

少年の頃の苦労話もざっくばらんだ。「うちは貧乏でしたから兄弟も力を合わせたし、地域の皆さんにも大変お世話になりました」と、家族や地域の人々との絆を今も忘れない。「人は決して一人では生きてはいけない」と語る言葉には、そうした体験が沁みついている。

知事就任以来、相次いで諸課題の決断を迫られる。「予想以上の速さです」というのが率直な感想とみえる。厳しい経済情勢下で県内の雇用を如何に確保し「地域の皆さんが安心して暮らせる行政をどう進めるか」が最大の課題であり、願いでもある。背景には離島を中心とした人口減少もあり深刻である。全国的に見ても低水準にある県民所得の底上げなど知事にとっては待ったなしの状況だ。

就任してまだ10カ月、すぐ成果を求めるのは早すぎよう。中村知事の手腕が問われるのはこれからだ。就任2年目はいよいよ正念場でもある。豪快さと誠実さを併せ持つ中村さんのこれからに期待したい。　（了）

私と長崎県人クラブ

光安　一夫

昭和48年（1973年）9月発行の県人クラブの名簿を見ていると、なんと財界で活躍された方がいかに多かったことか、賛助会員だけでも、多士済々驚くばかりであります。

もとはといえば、長崎出身者を中心に財界で活躍された方々が寄り合い、情報交換も兼ねて相互の親睦を深められておられたのが実態であったようでありましたが、財界以外からも参加させていただきたいとの要望に応えることとし、今日の長崎県人クラブが立ち上がったのでありましょう。

昭和49年、今道潤三（TBS社長）副理事長がクラブに走り込まれ、遅くなったけど、クラブ規約案ができたので見てくれ、と当日の理事会に持ち込まれました。創立から2年程経過はしておりましたが、今里広記理事長（日本精工社長）はじめ皆さん賛同され、今日のクラブ規約が成立し、正式な県人クラブが発足したのもこの頃でありましょう。それまでは、クラブの目的やそれにともなう事業・運営について議論を重ねてこられたものと思われます。

今里理事長は財界の政治担当の表者ともいわれた方でしたが、大変気さくなお方でした。

運営委員でもあった富田俊子理事が経営されていたとみた旅館（四谷愛住町）でも、その他の会食でも必ず歌を唄おうと発案され、自ら挑戦され、常に楽しい雰囲気がお好きな方でした。

当時の副理事長には、今道さんのほか、マナベ幼稚園園長の真鍋儀十（元国会議員）副理事長兼クラブ運営委員長、もうひと方の朝長巌（日本冷蔵社長）副理事長は紳士然としておいでしたが、若い方との会話を楽しみにしておいでした。よくスリーハンドレッドでのゴルフコンペのお世話をしていただきました。

監事は、皆様よくご存知の、反田邦治（反田産業汽船社長）、松園尚巳（ヤクルト社長）のお二方が務めておられましたが、理事に鈴木従道（長崎放送社長）さんがおられ、銀座8丁目で銀座通りに面している長崎センタービル内に県人クラブが存在していたのも今考えれば不思議このうえないのでありますが、鈴木社長のご配慮で家賃を払わないでよかった時代であったのであります。

当時の経済は上向きで、今日のような景気不安などなく、元気に満ち溢れ、会合はすべてが明るく、楽しいものでした。

発足当時の会員には、2代目理事長でありました、宮崎輝（旭化成工業社長）、3代目理事長の清水教雄（全日本空輸副社長）、4代目の田崎俊作（田崎真珠社長）、今日の5代目山内賢明（玄海酒造会長）の各位がおられたほか、その後、常務理事としてご尽力いただいた殿村僚笥（福砂屋副社長）、森一人（森油化商事社長）のご両人のほか、賛助会員には、朝長正軌（JCBクレジットビューロー社長）、野田岩次郎（ホテルオークラ社長）、若杉末雪（三井物産社長）、北村西望（彫刻家）、中村公三（山九運輸機工社長）、大和屋広喜（日本バイリーン社長）、井手義男（造形画廊社長）、今泉宗一郎（栗泉堂社長）、吉田宗弘（吉宗社長）、末永一行（帝国観光社長）、久保富夫（三菱自動車工業社長）、下村弥一（東亜国内航空社長）、頴川史郎（日本債券信用銀行頭取）、高島吉郎（高島真珠社長）会員など枚挙に暇もありませんが当時は大勢の方々がメンバーとして参加されていたのであります。



宮城　孝

私は昭和34年春に、長崎より東京に転勤してまいりました。反田産業汽船東京店は丸の内・日本郵船ビル（皇居前）の六階にありました。長崎から東京の中心のオフィスビルに勤めが変わり、田舎者が公私にわたり、戸惑いの連続でした。

43年の秋に長崎県人会の前会長永田菊四郎氏（日大総長）が今里廣記氏（日本精工社長）に、前幹事長高島吉郎氏（高島真珠社長）が反田邦治氏（反田産業汽船社長）に会長、幹事長をそれぞれ引継がれました。44年に長崎で国体が開催されるに当たり、在京での開催資金の調達に当たられました。

46年頃は放送業界はテレビの普及もあって好景気で長崎放送さんが銀座八丁目に自社ビル（長崎センタービル）を建設され、当時長崎県人会の副会長であった今道潤三氏（東京放送社長）が今里会長と相談し、長崎センタービル七階の2坪を東京放送系列でもある長崎放送鈴木社長より無償で提供していただくことになり、ここに長崎県人クラブが開設されることになりました。

61年頃、家主である長崎放送さんから景気後退により無償の家賃を有料にする申し出があり、役員で協議して、その結果を当時の理事長の宮崎輝氏（旭化成社長）に上申しました。理事長は「クラブを閉鎖することは簡単ですが、作ることは大変なことですよ」、もう一度継続を検討するようにとの指示がありました。協議の結果、理事長はじめ有志に寄附をお願いし、会費も値上げして継続することになりました。

平成14年の5月に銀座八丁目長崎センタービルより、家賃が特に安価な長崎県産業支援センターの一室に移転して今日に至っています。

波多野　勝彦

私も、あと数ヶ月で後期高齢者と呼ばれる年齢に達しますが、県人クラブ入会当時は34歳、最年少クラスの会員でした。

思へば、県人クラブの進展と重なるかのように、私の仕事上の歩みもありましたことを、この上なく光栄に思っています。あたかも「回り灯籠の絵のように」40年間の出来事が一瞬にして思い浮かびます。

私は映画制作を生業（なりわい）としており、入会の頃、やっと軌道に乗ったところでした。ドラマも何本か作りましたが、自治体からの委託で制作するドキュメンタリーが主体でした。

銀座一丁目に事務所を持っていまして、そんな関係で、ロケーションから帰って事務所にいるときには、散歩がてら八丁目のクラブに行っては、奥のソファーにポツンと座って「ものおもい」に耽ったりしていました。

時は流れ、クラブの事務局が四谷に移転してからはご無沙汰がちだったのですが、平成19年のある日、会費納入を兼ねて訪れますと大勢の会員のかたがいらっしゃいました。

毎月一回、会員デーが催され、たまたまその日とのこと。それでは、私も仲間に入れてくださいということで、以来、会員デー新人として出席させていただいています。

さて、このあたりから、また私の後半の人生が始まります。

北海道から沖縄まで各地を飛び回って映画作りに励んでいましたが、市町村の大合併以降、注文が途絶えました。ところが、還暦を過ぎてから学士編入学をした新たな大学で学んだ医療の知識が役立ち、現在その方面で立ち働いています。（難病のかたへの生活指導を終えての帰途「東海道新幹線上がりひかり号車中」で）

そう、明日は会員デー。郷土料理に舌鼓を打ちながら、会員の皆様がたと歓談するのを楽しみにしています。

私と長崎県人クラブ

吉澤　均

当クラブに入会したのは平成11年9月1日でした。当時、私は「東京・鹿町ふるさと会」（昭和62年9月発足～平成22年3月）副会長の立場でしたが、会長の相川欣也さんから「これからは県出身のハイレベルの方々との交流を深めたがよい」との紹介により入会したものです。「東京・鹿町ふるさと会」は過疎地鹿町町の活性化方策について、町当局に提言し意見交換をすることを目的にしていましたので、総会には長崎県東京事務所長もご出席頂いておりました。鹿町町は平成22年3月31日付けで佐世保市と合併しましたので、「東京鹿町会」も「東京佐世保会」に合流した形になっています。

平成13年（2001）1月25日発行の「長崎倶楽部No.20」では、「ふるさと紀行／鹿町町への招待」を寄稿させて頂きました。この紀行記事では、当時の鹿町町の観光目玉として、①西海国立公園と北九十九島　②名勝長串山公園のつつじ　③海洋オリエンテーリング大会　④鹿町工業高校の運動場にわきだした「鹿町温泉」などを紹介しました。

私の行政職現役時代（昭和40年4月～平成3年6月）は、主として電力及び新エネルギー開発関係の部局を担当していましたので、松島火力や松浦火力発電所の立地や、雲仙西部地域及び五島列島有川地区の地熱開発促進調査などで長崎県の知事（高田勇氏、金子原二郎氏）や開発担当部局とはご縁がありました。「長崎鹿町風力発電所」は、私が在任（平成8年6月～平成12年6月）した電源開発がその後九州電力等と共同出資して設置したものです。現在は電力（発電所）や新エネルギー開発とは別の世界に奉職していますので、「郷土長崎県の活性化」には直接にはお役に立てないのが残念です。

機関誌「長崎倶楽部」の名刺広告には必ず出させて頂いていますが、総会、後援会等の行事には最近足が遠のいており、申し訳なく思っています。

県人クラブのますますのご発展を祈念致します。

吉田　佳広

18歳で長崎を離れて、すでに半世紀以上の時間が流れています。

父母が逝ってしまったふるさとは、老いた従兄弟がわずかに残っているのみ。したがって帰省するチャンスや理由は失われるばかりで、まさに「故郷は遠くにありて想うもの」状態。私の周辺から長崎の香りが少しずつ薄れていくような気がしていました。

しかし、このような状況下でも長崎人であるという自覚を私にもたらしてくれているのは、高校の同窓生とこの県人クラブの存在です。…このように大切な存在であるにもかかわらず、そして20年近くになる会員履歴にもかかわらず、すべての会合には一度も出席せず、会費も滞納しがち、迷惑のかけっぱなしと、とても会員とは言えないありさま。それでも十四・五年前には機関誌「長崎倶楽部」のタイトルデザインをやらせていただいたり、同窓生たちの会合会場として使わせていただいたり…と、わたしにとってこのクラブの存在は決して小さなものではありません。このように心情と行動が全く一致しない会員である私が、特にいやな顔もされず？　問題にもされない？　おおらかさがこのクラブにはあるようです。…これは多分勝手な解釈のしすぎですね。

最近、高校の在京同窓会誌の編集に参加することになりました。編集会議はこの県人クラブで開催されています。おかげでこのところクラブに顔を出す機会が増えてきました。同窓生や事務局の方たちとの会話はまさにまぎれもなく長崎そのものであり、ともすれば忘れがちな長崎の色や景色や風を感じさせてくれます。近頃は会合のついでに「かんぼこ」などを手に入れることまで覚えて、ますます楽しみが増えてきました。

この冬、数日、長崎に帰ります。父母の法事や永代供養をお寺さんにお願いするのが目的ですが、これが「ふるさととの結びつきであり、齢を重ねるということなのか」…としみじみ感じているこの頃ではあります。

有田　勝巳

「長崎倶楽部」40号発刊おめでとうございます。県人クラブの催しにはほとんど参加できてない私ですが、早いもので、会員になってから11年が経過したようです。会員になったのが34歳の時でしたので、おそらく会員としては最若手であったと思いますが、県人クラブには学生時代からお世話になっていましたので、会員になる前にお世話になった期間と、会員になってからの期間がやっと同じくらいになったというところです。

私と県人クラブの関係は「一木会」に参加したところから始まります。「一木会」は、大村高校東京同窓会の集まりで、毎月第一木曜日に銀座長崎センタービルの県人クラブで行われていました。行ける時に行けば誰かがいるという、たいへん敷居の低い会（私が図々しかっただけなのかもしれませんが…）で、年齢の隔てなく皆で飲んで語っていつも盛り上がっていました。平成10年から続いている大高東京同窓会のゴルフコンペ（この秋に24回目を開催しました。）も、「一木会」で盛り上がった勢いで実施することになったのが起源だと思います。「一木会」を通じて、私は多くの先輩方にお世話になり、多くの方々と交流を深めることができました。それは今現在の私の大きな財産であり、私の大村高校東京同窓会における活動の原点でもあります。「一木会」のような会が開催できたのは、県人クラブという場があったおかげです。その意味では、私の成長の場が県人クラブにあったともいえ、県人クラブには感謝の念に堪えません。

さて、私と県人クラブの関係はまだまだ長く続きます。今まで以上にお世話になります。引き続きよろしくお願いします。

機関誌「長崎倶楽部」祝 40号発刊記念

長崎東高在京同窓会
会長　古川　彌

長崎西高在京同窓会
会長　堀内　宇

長商同窓会関東支部
支部長　大町　武俊

佐世保南高等学校東京同窓会　東京柏葉会
会長　浦松　敏和

佐世保北高等学校同窓会　東京北星会
会長　川崎　敏明

大村高校東京同窓会
会長　福田　俊男

長崎県立清峰高校（旧北松南）同窓会関東支部
支部長　守山　泰弘

猶興館東京同窓会
会長　岩崎　勝也

長崎県立平戸高等学校同窓会東京・首都圏支部
会長　森　和十郎

長崎県立壱岐高等学校東京同窓会
会長　長峰　隆徳

ひと

JR東日本 四ツ谷駅長
白山（しらやま） 弘子（ひろこ） さん（長崎市出身）



凛として爽やかな人…白山さんに会っての第一印象である。

JR東日本で初の女性駅長として2010年6月に就任。四ツ谷駅では第41代目の駅長である。駅員36人（内女性は3分の1）の先頭に立ち指揮を執る。都心の駅だけに1日の乗車人員は勤め人や学生など約9万1千人に達する。JR東日本1千7百5駅の中で43番目の主要駅でもある。

1993年の入社後、これまでに法人営業を行う新宿営業支店や本社人事部（採用担当）、本社営業部IT販売プロジェクトなどを担当してきたが、駅の業務は今回が初めて。駅長としての感想は―「やりがいがあって、楽しいですよ」と屈託ない。男性駅員は「駅員も一段と活気づいています」と駅員にも好感度で迎えられている。

朝の30分間は就任以来、毎日改札口に立って笑顔でお客への挨拶を欠かさない。「お客様に感謝の気持を伝える手段の一つです。都会のビジネスマンの方は疲れているように見えます。一日の仕事が明るく始まるようにという思いもありますね」という。

駅長の使命についてどう考えますか――「駅を降りる人も、降りない人も安全確保が第一です」と交通機関の最大使命である「安全」を最優先に対応する気概が伝わる。

それだけにストレスもあるはずだが――「休みの日は日帰りで温泉に行き、広い湯につかります。すると身も心もすっきりしますね。温泉めぐりが趣味なんです」と笑顔がはじける。

駅長としての夢は「駅のマネジメントをしっかりやり、駅をもっと便利に快適に利用していただけるようにしたい」と、お客へのサービス精神が膨らむ。後輩の女性に伝えたいことは「やりたい気持ちや思いをしっかり持って前に進めば必ず道は開けるものです」と激励する。

小さい頃から特別に鉄道に興味があったわけではないという。「就職活動の一環としてJR東日本のOBを訪問したのがJR発足5年目のときで、先輩のJRを良い会社にしようとする意識や熱意に引かれて入社」したのが鉄道員の始まり。

とにかく明るい人柄で、話も整然として歯切れ良い。これからの活躍に期待したい。

長崎市の中心部で育ち、長崎市立磨屋小学校、同市立桜馬場中学校、県立長崎東高校卒。1993年早稲田大学卒業と同時にJR東日本入社。40歳。

（文・牧山康敏　写真・宅島正二）

www.guenbs.com



新刊紹介❶

「長崎県の平戸に伝わる昔ばなし 伝説・平戸恋しや編」

ながた いんちき 作

平戸昔話研究会　価格1250円(税込み)



ふるさとの文化を掘り起こし歴史的資源を発信することで、児童生徒の情操教育と平戸を紹介する一助になればと、長崎県の平戸に伝わる昔話の第2集「伝説・平戸恋しや編」が出版された。

「かすていら物語」と「しあわせ橋物語」とから成り、ともに平戸の恋物語である。前者は、かすてらが恋人の命を救った薬だったという話で、後者は、現存の幸橋(しあわせ橋、正式にはさいわい橋)にまつわる若者の物語である。

ポルトガル修好150周年(平戸来港460年)記念の出版で平戸検定の副読本としても最適であり、関係年表、ガイドマップ付きで大人も読める絵本である。

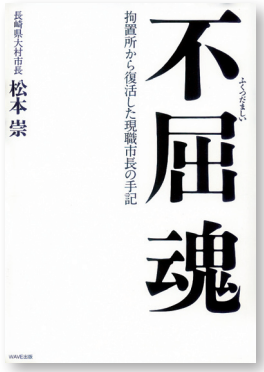
(内堀勝之)

新刊紹介❷

「不屈魂　ふくつだましい」

松本 崇 著

WAVE出版　価格1500円+税



大村市長の松本崇氏の自叙伝で「拘置所から復活した現職市長の手記」という副題がついている。題名のとおり多くの困難に対して不撓不屈の精神で立ち向かっている。

学校の校訓に「不撓不屈」という言葉がよく掲げられているが、その意味は抽象的に述べられることが多い。本著はそれを地で行ったようなもので「不撓不屈」とはこういうものかと実感した。小学校を卒業して一人で上京して兄の住まいまでたどり着いたり、会社に入社するときのエピソードなど一気に読める。

圧巻は市長在職中の逮捕、拘留と拘置所での生活、奥様の自殺に加え、次男の急死など極限の精神状態など赤裸々に述べられている。

あとがきに今後、またいつ何どき遭遇するかもしれない試練に勇気を持って立ち向かっていきたいと結んであるが、この言葉は若者にも向けられている。

(内堀勝之)

DVD紹介

「ザ・長崎くんち」



毎年10月に開催されている「長崎くんち」。

NBCでは昭和37年から諏訪神社での奉納踊りを生中継していますが、その集大成として全踊り町の奉納踊りを1枚のDVDに収めました。

タイトルは「決定版！すべて魅せます　ザ・長崎くんち」。

現在は披露されていない奉納踊りや昭和初期の映像など、このDVDでしか見ることのできない貴重な映像が満載です。盛りだくさんの内容で￥2000(税込)とお買い得です。ぜひご覧ください。(NBC長崎放送　早田　健介)

●出演：越中哲也(長崎歴史文化協会理事長)　林田繁和(NBCアナウンサー)

●本編：119分40秒　　●価格：2000円(税込)

●お問い合わせ先：NBC事業部　TEL(095)820-1022

金型用部品・パンチ・ピン

株式会社　スガモ技研

代表取締役　福田邦昭(平戸市大川原町出身)

〒341-0012　埼玉県三郷市半田1028-4

電　話　0489(57)4111(代)

FAX　0489(57)4123

営業品目

冷間鍛造パンチピン
モールド型用コアーピン
プレス型用パンチピン
プリント基板金型用パンチピン
その他

東京・平戸北松会総会　開催

東京・平戸北松会「第28回総会・懇親会」が平成22年10月30日グランドプリンスホテル赤坂にて行われました。平戸市長黒田成彦氏も出席の予定でしたが、台風14号のため、飛行機が欠航し、残念ながら欠席されました。

大石睦彦会長の開会の辞に始まり、松浦副市長寺澤優國氏の手締めにより閉会となりました。

思い起こせば初代会長・町田計五郎、副会長浦辺衛・冨永京太郎各氏の顔がいやがうえにも思い出されます。我々平戸若手活性化グループ「南蛮平戸 ふるさと会」は平成3年よりPRを目的に参加させていただき、いつもご教示くださり、時には厳しくご指導賜り大変懐かしく、故郷に対する温かい想いを今回も実感した会でした。その後、町田会長から毎年参加せよとのご指導をいただき、現在に至っております。

「夢は今もめぐりて、忘れがたき故郷」「志を果たして、いつの日にか帰らん」

故郷に残るものとして、「山はあおき故郷、水は清き故郷」として、いつまでも変わることなく残していきます。

今回は県人クラブ平松理事より出稿の依頼をいただきありがとうございました。

（平戸商工会議所　副会頭　福田　詮）





松浦高等学校同窓会関東支部総会・懇親会

10月31日（日）スクワール麹町において平成22年度松浦高等学校同窓会関東支部総会・懇親会が開催されました。前日の大型台風の影響が心配されましたが、北九州と大阪からも参加者がありました。

北浦校長先生から、来年は創立50周年の記念すべき年であり、生徒による「第九」の大合唱などいろんな企画と、今年は駅伝チームが期待できることなど母校の最新情報が報告されました。また、同窓会本部の藤田副会長からも、この日は「松浦水軍祭」の当日であり、地元ではパレードや出店等もあり、市内は大いに盛り上がっているとの話をいただきました。

本誌「No.38」でも紹介されましたベンチプレス競技の加藤勇次さん（昭和42年卒小田原市在住）は、今年もマスターズ世界大会（アメリカ）に出場し優勝された、との報告がありました。私たち参加者も、大いに勇気づけられました。

（松浦高等学校同窓会関東支部　会長　白石　栄治）

長崎東高在京同窓会

長崎東高在京同窓会総会は、昨年より秋季開催となり、本年の第38回総会も10月2日（土）に行われました。昨年まで数年にわたりお世話になりました虎ノ門パストラルが閉鎖になった為、今回は新しく会場を八重洲富士屋ホテルにいたしました。足の便がよいこともあり参加者は昨年を30名弱上回り、当番幹事のご苦労も報われたのではないかと思います。

残念ながら会場の階高が低い事と大広間の狭さとにより、恒例の龍踊りは出来ませんでしたが、それに代わる、当番幹事の企画による食事の大盤振舞い、名付けて「龍馬もゴックン!?　食べて懐かし長崎うまかもん三昧！」が大好評。

長崎からは今春新たに母校に着任された宮崎校長、同窓会関連でお世話になってます大町先生（38回生）、手塚長崎同窓会会長（16回生）、瀬戸口福岡会事務局長（22回生）が出席されました。

圧巻でありました招待恩師は、先ずバスケットボール界でも有名な木下先生、先生にお会いしたいが為に参加したOB・OGの数は、数10名にも及びました。菊池先生は、当番幹事と同期の26回生であるが為、ご招待と云うよりも当番幹事の一員として活躍して頂きました。



（長崎東高在京同窓会　会長　古川　彌）

長崎工業高校関東支部同窓会総会
去る11月13日、第31回長工関東支部同窓会が開催されました

今年は機械科が担当幹事科となり会場は笹川記念会館で開催されました

本部からは三田村信義会長、関西支部から横山高明会長、母校から梅野剛教頭をはじめ多数のご来賓・同窓生の参加を得て、97名が集い 総会、懇親会、有志参加の二次会と、楽しいひと時を過ごしました。

今年は更に、初めての試みになりますが、県下工業高校の各校へもご案内を出しました。境界を無くし同じ工業技術系の交流・連帯・融和を図るべく具現化したものです。今年は大村工業高校同窓会関東支部・島原工業高校関東同窓会のご参会をいただきました。

又、「宝塚」出身（長崎県人）の方が運営する〝エムズ〟の女性スタッフのご協力も得て懇親会に華を添えて戴きました。

総会では、松尾剛会長より 前記のとおり 今後の運営方針等 意気込みを感じる挨拶があり、本部三田村信義会長から、会の盛会と更なる飛躍を期待される旨の挨拶を受け、我々会員の気持ちも引き締められたようです。

懇親会に移り、母校・梅野 剛教頭からは在校生の活躍が紹介され長工卒業生であることを誇りに思う場面もありました。

イベントでは、本校機械科卒業生である［島原観光大使］の城谷護さんの腹話術（ゴローちゃん）〝エムズ〟女性スタッフによるすばらしい歌謡ショー、更には「抽選会」とほほが緩む程、楽しく、華やかなひと時を過ごす事が出来ました。

老いも、若きも、年に一度この総会に集い、同じ釜の飯を食った仲。美味しいお酒を酌み交わしながら語り会い不景気と云われる世知辛い 追われる毎日から ちょっとだけ 離れた空間がそこにはありました。

会も終わりに近づき、手締めは来年の担当科である建築科16名が壇上に上がり、私が代表して挨拶を行ない来年は今年都合で参加出来なかった周囲の友人先輩 後輩へ声を掛けて戴き今年以上に盛り上げていくことへの期待と、お願いを以ってお開きとなりました。

昔から「鶴は千年」と言われており、長寿・長生きの象徴でもあります。



我が母校の校章は「鶴の港」長崎を表わしている鶴がデザインされたものです。皆様とも又、来年この会で元気にお会い出来ることを楽しみにして居ります。

（広報　永田　昌利）

長崎西高在京同窓会



10月23日（土）東京目白の椿山荘にて開催されました。当日は晴天に恵まれ、参加総勢３２０名。長崎からお招きした校長先生はじめ複数の恩師のご来臨を仰いで、今年も盛大な同窓会を開催することが出来ました。

宴には、ＮＨＫ大河ドラマ「龍馬伝（シーズン４）」の龍馬伝紀行のバックで美声を聞かせているYuccaさんがゲスト出演され、会の雰囲気を一層盛り上げて下さいました。（彼女は今春、長崎市内でコンサートを催す予定とか。）

同窓会の締めは、前年に引続いて東龍会による龍踊りの披露。今年は西高出身者２名が加わり、先輩に負けぬよう力一杯汗をかいていたのが印象的でした。

（男澤　浩一）

東京雪州会会長に牧山康敏氏
総会は２３０人が出席し賑わう



東京雪州会は平成22年10月31日、東京プリンスホテルで平成22年度総会及び懇親会を開き、壱岐市からの来賓を含め総勢２３０人が出席。総会では山内賢明会長の任期満了（４年）に伴う後任会長に牧山康敏副会長兼幹事長が正式に就任しました。また後任幹事長には久原順一氏、山内会長は名誉会長にそれぞれ就任。

総会には壱岐市から白川博一市長や山口壮三県議ら25人が出席し、雪州会会員との交流を深めました。山内会長は退任に当たり、会員の協力に謝辞を述べるとともに雪州会創立90周年事業や壱岐市活性化の全国協議会の開催などに取り組んだと報告。

牧山新会長は「会員の親睦交流の機会を増やすと同時に、壱岐市との交流をさらに活発化し、ふるさとの活性化に貢献したい」と抱負を述べました。

懇親会では恒例の壱岐麦焼酎や壱岐牛、銘菓カスマキ、雲丹、魚の干物など壱岐特産物の福引抽選会などで大いに賑わいました。

（牧山　康敏）

ベターデイズ 長崎南高関東同窓会



いつもと同じ遅い夕食の後で、長崎の高校の同級生から送られてきた今年の夏のDVDを見た。ステージでドラムを叩く彼の姿。ステージでの彼を見るのは、実家の会社を継ぐために東京を去ることになった彼の送別ライブを見に、下北沢のロフトに行って以来だから10年ぶり位になるのか。

ハイハットを刻む彼の右手を見ながら焼酎片手の私は、彼を初めて見る家人に、思わずいつもの評論家口調で「もうちょっと柔らかく叩ければなぁ」と言ってしまい、「今更言っても仕方ないか…」と寂しく笑いながらテレビの画面に視線を戻した。

ワイの精霊船のDVDやもんなぁモリサキ、47は早かやろ。

10年前、母校の関東同窓会の幹事を我々の代が担当した時、伊豆への打上げ一泊旅行に10人程で行ったのが、今思えば彼と親しく言葉を交わした最初だったように思う。落ちこぼれの私と、成績優秀な彼とでは接する機会もなく、物理的にも距離があったのだ。

DVDで友人たちが話す、サザンに憧れて青学に進学したことや、であれば当然軽音楽部に所属したことなどは何となく知っていたけれど、進学に際して当時の進路指導の先生からは反対された（とにかく長大第一主義の高校だったので）とかは知らなかったし、東京でのサラリーマン生活にピリオドを打って家業を継ぐことになった経緯も、その後の長崎での経営者としての大変さ、忙しさなども、たまに長崎からかかってくる酔っ払った友人達の世間話で知る程度だった。一度、そんな電話の中に彼もいたように思うけれど、多分「今度帰ったら飲もうで」という、ありがちなやり取りのまま、結局会えずじまいになってしまった。

Suger, Suger Ya Ya Petit Chaux もう一度だけ会えたら Pleasure Pleasure, La La Voulez-Vous いつの日にかまた (1982 Southern All Stars)

（第20回総会実行委員長　大串　達郎）

在京長崎県下高校同窓会代表者の集い





第12回在京長崎県下高校同窓会代表者の集いを平成22年11月26日（金）に、三田の笹川記念会館で開催しました。本年は初参加の西陵高校および西彼杵高校を含め28校、91名の参加がありました。お互いの情報交換の場として交流が進んだようです。

参加校は長崎東、長崎西、長崎南、長崎北、長崎工、長崎商、佐世保南、佐世保北、佐世保工、島原高、島原農、島原南、口加高、大村高、大村工、五島高、猶興館高、平戸高、対馬高、壱岐高、清峰高、海星高、長崎女子商、長崎南山高、西陵高、小浜高、長崎女子高〈旧鶴鳴高〉、西彼杵高でした。

（文・内堀勝之　写真・宅島正二）

平成22年度東京海星会総会・懇親会を開催



平成22年度東京海星会総会・懇親会が10月30日（土）、午後5時からホテルニューオータニ・タイカンエンで行われました。当日は、台風が関東地方に上陸という報道もあり、開催が危ぶまれましたが、約120名が出席し盛大に行われました。

会は、物故者への黙とうに始まり、引き続き東京海星会の総会が行われ、決算報告、次年度の活動計画、予算が検討された。昨年度は、会長の任期が切れる年だが、本年がこの同窓会も60回を迎える節目の年であり、引き続き現体制で臨むことが承認された。

総会の後は、懇親会に移り、海星学園山崎理事長が来賓を代表して挨拶、引き続き姉妹校の暁星学園同窓会浅尾会長の乾杯の音頭の後、懇親に移った。（弓削　保彦）

第27回大村高校東京同窓会総会・懇親会

大村高校東京同窓会は、恒例となった東京同窓会総会・懇親会を、10月16日土曜日に「笹川記念会館」にて実施しました。

同窓会には、2次会からの参加者を含めると150名近い同窓生と大村高校同窓会会長・大村高校教頭はじめとする故郷からの参加者の他、大村市東京事務所・長崎県人クラブ・在京の佐世保南高校同窓会・大村工業同窓会関係者など、多数のご来賓のご出席をいただき和やかな雰囲気の中で開催することができました。

亡くなられた方への黙祷後、校歌斉唱、会長挨拶、議事を経てご来賓の祝辞を賜り、済々と総会を終え、懇親会へと進みました。懇親会では会話も弾み、担当幹事年度が創作した「大村高校ウルトラクイズ」では、懐かしの制服を着た、いいおじさんと可愛い女子の登場で盛上り、豪華景品を前にさらに白熱、ラストの応援歌では、会場一丸となった歌声に、同窓生としての絆が一層深まり、再会を約束し、盛会のうちに終了することができました。

さて、どこの高校の同窓会でも同じように、同窓会の役割と存在をいかに若い世代へ繋いでいくかが大きな課題になっていますが、私たちも様々な工夫をして若い世代への拡大を模索しています。特に今回は、東京同窓会役員の刷新を機に、従来から同窓会を支えてきた会員の方々を核に力を入れて取り組みました。会場の変更、参加しやすい参加費の見直し、案内状の一新、新聞広告への掲載、東京同窓会ホームページでの案内、学年ネットワークの活用、若い世代を呼び込むグループ「仮称わっかと会」の活動など、いろいろな方法で実施しました。結果としてまへの広報活動をホームページとSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を通して行っております。SNSには2010年12月現在で448名が登録しており、関東だけでなく長崎や日本各地、海外に住んでいる方々が、個々人の日記（ブログ）の中で四方山話に花を咲かせています。SNSでは年代も異なり、面識もなかった人たちが、「同窓生」というだけですぐに打ち解けることができるのが不思議であり魅力でもあります。そのSNSの中で知り合い、面識のない同窓生同士が会場のあちこちで「初対面」を楽しむ姿はまるで高校生に戻ったかのように微笑ましい光景でした。

同窓会、SNSで「北高ファミリー」の輪がジワジワ拡がっていることを実感いたしました。

お問い合わせは、下記までお寄せ下さい。E-mail tokyopr@nagasaki.kitakou.net

（長崎北高同窓会　東京支部
事務局　武富　和宏）

「都会のオアシス」
～長崎北高同窓会東京支部の第11回同窓会　総会・懇親会～


還暦を迎えられた3回生、恩師、教頭先生

2010年11月6日（土）に「都会のオアシス」をテーマに、新宿のハワイアンレストランで長崎から恩師の先生、現教頭先生、同窓会副会長をお招きし、総勢168名にご参加いただいた同窓会は大盛況でした。

会場では恩師の先生の懐かしい思い出話や、教頭先生から母校の活況の様子、卒業間もない（18歳～23歳）の若者の自己紹介に加え、フラダンス、テーブルマジック、コーラス部（北高OB、OGによる）の合唱、大抽選会など楽しいイベント盛りだくさんで、「来年もまた参加したい！」そんな声をたくさんいただきました。

北高東京支部では、会員の皆さ



は、若い世代の参加者が従来の2倍以上に増えたほか、今回の参加にはつながらないものの、新規会員として約50名の登録を得ることができ、今回の取り組みの大きな成果であったと考えています。

東京同窓会を通して、同学年ばかりでなく、世代を超えた繋がりを築いていくことで、さらに同窓会の良さを広く浸透できればと考えています。これからも大村高校東京同窓会へのご支援とご協力をよろしくお願いします。

（事務局長　篭原　勇三）

島原南・有馬商業・島原翔南高校同窓会関東支部

同窓会関東支部は、平成13年に島原南高校関東同窓会としてスタートしました。母校である島原南高等学校と有馬商業高校が統合され島原翔南高校として新たな歴史がスタートいたしました。同窓会もより活発に活動するため、同窓会を一本化し、一昨年より本格的に活動しております。今年は、新春の2月19日（土）に四谷「スクワール麹町」で総会・懇親会を開催いたします。卒業生、関係の方のご来場をお待ちしています。詳細はホームページに記載、または事務局までお問い合わせください。

【事務局】
〒140－0004
東京都品川区南品川
5丁目1番20号 KALDi
事務局長　渡邊　武志
☎03（3474）3191
e-mail:kantho@nishiarie.com
http://nishiarie.com/kibou.ga.oka/

（島原南・有馬商業・島原翔南高校同窓会関東支部
会長　児嶋　新衛）

長崎ゆかりの交流会



11月2日(火)八芳園において、約380人の方にお集まりいただき「長崎ゆかりの交流会」を開催しました。長崎県と首都圏をつなぐための情報交換などを長崎県産の食材を使用した料理を味わいながら行いました。

現在、長崎県ではアジア・国際戦略に取り組んでいますが、交流会に先立ち、本年が辛亥革命100周年を迎えるにあたり、革命を成功させた孫文に経済的支援を行った、長崎出身の梅屋庄吉について「孫文・梅屋庄吉と長崎」と題して、梅屋庄吉のひ孫にあたられる日比谷松本楼の常務小坂綾乃さんからご講演いただきました。

交流会では、長崎県産の食材を使用した料理を味わっていただきながら長崎県と首都圏をつなぐための情報交換などを行いました。また、長崎県が取り組んでいるEVプロジェクト、長崎の教会群の世界遺産登録、ふるさと納税、諫早湾干拓などについて説明を行い、ご理解とご協力をお願いしました。

さらに、長崎くんちでおなじみの龍踊りが東龍会のみなさまによって披露され、演技のすばらしさから「もってこい」が飛び交うなど大いに盛り上がりました。

(長崎県東京事務所　馬場　久司)

平成22年度長崎県人会総会

12月10日(金)グランドプリンスホテル赤坂において、平成22年度長崎県人会総会が約400人の方にお集まりいただき開催されました。

相川会長の挨拶から始まり、来賓の中村法道長崎県知事から、長崎県の置かれている状況や「上海航路の復活」、「諫早湾干拓」など県が行っている取り組みなどについての説明などの挨拶がありました。

懇親会では、五島手延べうどん、長崎みかんなど地元の食材を味わいながら、テノール歌手の市山恵一、ピアノ伴奏の市山知子ご夫妻によるミニコンサートで、唱歌「ふるさと」を全員で合唱するなど大いに盛り上がりました。

また、抽選会では、県、県議会及び各市町をはじめ、各地区県人会、長崎県ゆかりの企業などから多くの景品をいただき、大変にぎやかな会となりました。

(長崎県東京事務所　馬場　久司)

東京柏葉会 第20回同窓会



東京柏葉会が本年度も7月10日(土)目白の椿山荘で開催されました。平成3年の初回から数え第20回目の記念総会は、天候にも恵まれ会員281名、来賓・恩師の方々23名を加えた合計304名の大勢の方にご参加いただきました。

●総　会　山田幹事長の司会進行で、浦松会長の挨拶、会計報告、監査報告の議事が進行されました。

●講演会

講　師：原田泳幸(第19回生)

テーマ：「マクドナルドの経営改革」

今、話題の経営者の講演会とあって、会場の定員一杯の約250名もの出席者となりました。原田さんの大学時代の佐世保弁での質問やトライアスロン大会への準備など日常生活の様子から始まった講演会は、とても興味が沸く話題も多く、経営者としての「人材の育成」「一円の重み」「一秒の大切さ」など経営の厳しさの一端も知ることができた貴重な講演会でした。

●開会・来賓挨拶　東京柏葉会浦松会長の挨拶、来賓として柏葉会本部内海会長、青崎佐世保南高校校長の祝辞、東京佐世保事務所所長松永氏より朝長佐世保市長の祝辞代読をいただき、その他福岡柏葉会本山会長、関西柏葉会川原氏、旧制佐世保中学、佐世保北高校、大村高校、長崎西高校、長崎県人クラブ等から多数のご来賓にご参加いただきました。

超音波洗浄器
アイワ医科工業株式会社
代表取締役　本田武利(諫早市高来町出身)
〒113-0033　東京都文京区本郷3-25-4
電話：03-3814-2291(代)
FAX：03-3814-2197

＊超音波洗浄器製造一筋40年。
＊医科・歯科・理化・工業・宝飾等多方面の業界において活躍。
＊硝子器具・手術器具・機械部品等あらゆる分野の精密洗浄に最適。
＊全80機種の標準製品を在庫。

秋の講演会

「孫文と梅屋庄吉 ～盟約にて成せる～」

『講演日：平成22年10月27日』

講師　小坂　文乃 氏

○　本日は、長崎県人クラブで、曾祖父梅屋庄吉の話をさせていただく機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日お話をさせていただきます孫文先生と梅屋庄吉につきましては、日中近代史の底に埋もれてしまった歴史でございます。しかし、昨今、誰もが隣国中国と向き合っていかなければならないということを意識した中で、中国と日本がお互いに助け合ったというこの歴史に光が当たるようになったのではないかと思っております。

100年前の歴史に光

2011年は、孫文先生が清朝を倒した辛亥革命から100周年に当たります。この孫文先生は、中華民国を建てられたわけですから、台湾の国父でもあられますので、中台関係を考える上でも、この国父孫文に対する中華人民共和国、そして、台湾政府、両方の姿勢は非常に前向きなものを感じております。

それは、例えば2008年、胡錦濤国家主席が、10年ぶりに国家元首として来日されましたときに、まず、最初の訪問地が、実は日比谷公園の中の松本楼でございました。国家元首が一レストランに行くことはまずないわけですね。ところが、実は、そこには、梅屋庄吉と孫文先生の歴史の資料をごらんになるという大事な一幕がございました。

まず、孫文先生は、清朝を倒して、中華民国を建てました。その30年ぐらいにわたる革命生活のうち3分の1、およそ10年間を日本で過ごされています。日本人の友人は300人ぐらいいると言われております。この300人の友人がそれぞれのグループに3つぐらいに分類されると言います。1つは、自由民権主義の立場から中国の革命に参加した宮崎滔天らの自由民権派の「大陸浪人」と呼ばれているグループですね。そして、第2のグループとしては、国権主義の立場から中国革命に関与した頭山満らの国権主義の大陸浪人グループ。第3のグループが「有力者グループ」といって、政治家である犬養毅とか、財界人の久原房之助、梅屋庄吉もその中に入ります。そういった有力者もしくは財界人のメンバー。この3つのグループによって孫文先生が支えられていました。

少年時代の孫文先生と庄吉

梅屋庄吉は長崎の西浜、川沿いにある貿易商の息子として生まれました。長崎を出るきっかけは、自分の家の商売で失敗をしまして、大陸に逃げるというような経緯も、実は若いときにございます。

孫文先生も、また、庄吉と全く同じように、12～13歳ぐらいのときに、中国の南の中山出身ですが、庄吉と孫文は全く同じぐらいの時期に、自分の国を離れて、外から自分の国を見るというような動きをしています。この二人の共通点は、この少年時代から始まるのではないかと思います。



〈小坂 文乃〉さんのプロフィール

1968年1月9日東京生まれ。中学・高校時代を英国にて過ごす。立教大学社会学部観光学科卒業。
大学卒業後、Waterford Wedgewood Japan株式会社入社。マーケティング部所属。
その後、日比谷松本楼に入社。現在、常務取締役　企画室長。

日英協会会員。孫文と梅屋庄吉研究センター（上海）顧問。同済大学　アジア太平洋研究センター　顧問研究員。
梅屋庄吉の曾孫として、日中親善の活動にも携わる。建国60周年記念レセプション（温家宝首相主催）ならびに式典に参加。
2010年上海万博日本館イベントステージ及び北京にて＜孫文と梅屋庄吉展＞を実施。

孫文と梅屋庄吉がどのように出会ったのかというお話をさせていただきたいと思います。二人が出会ったのは1895年、香港のセントラル（中環）でございました。当時、庄吉は写真技術を身につけまして、香港のセントラルで「梅屋照相館」という写真屋をやって非常に繁盛しておりました。そこの梅屋照相館に1人のイギリス人がよく出入りしていました。実は、このイギリス人は、孫文先生の医学校の先生でした。つまり恩師だったわけです。孫文先生は最初お医者様だったんですね。孫文先生も実は、自分の恩師であるイギリス人に「自分は医者だけれども、本当に治したいのはこの国である」というようなことを訴えていたわけですね。そのイギリス人の名前は、ジェームス・カントリーさんという方です。ジェームス・カントリーが孫文先生と梅屋を引き合わせました。

「君は兵を挙げよ、我は財をもって支援す」

梅屋庄吉は、孫文先生に「君は兵を挙げよ、我は財をもって支援す」という約束をいたします。時に、庄吉27歳、孫文先生は29歳のことでございます。梅屋庄吉は、この約束を一生貫くことになります。

梅屋庄吉に出会ってすぐに、孫文先生は、初めの広州での革命を起こしますが、幾度も失敗いたします。当然、孫文先生は次の蜂起を企てていきますが、それにも梅屋庄吉は資金を援助し続けます。革命を孫文が起こしたものですから、清朝政府から孫文は狙われますし、それを援助している梅屋庄吉にも逮捕状が出ます。梅屋庄吉は、香港の写真館をそのままにしてシンガポールに逃げます。

そのシンガポールで梅屋庄吉が

出会ったのが映画でございました。もともと写真屋だったので、フィルムを買い付け、毎晩のように映写をすると、たくさん人だかりができるということで、シンガポールにいる間に、かなり財を成し始めます。その財をもって日本に凱旋帰国をいたしまして、東京に「Mパテー商会」という映画会社をつくります。

白瀬矗の南極探検がございました。日本人で初めて南極探検に行くわけですが、これは日本の政府からお金は出ませんでしたので、早稲田大学を創られた大隈重信が理事長として白瀬矗の南極探検のお金を集めるトップになられます。当時、梅屋庄吉は、大隈重信とも交流がございまして、この探検にもかなりの寄附をしております。梅屋庄吉は、自分の映画の撮影隊も南極に送り込みます。このようなドキュメンタリーを梅屋庄吉は数多く撮っております。



辛亥革命の唯一の動画

映画ビジネスで名を成した梅屋庄吉は、日活の創設者の1人でもあります。

梅屋庄吉の目的は、映画ビジネスで成功させたお金を革命に使うことでした。来年、辛亥革命100周年だということを私先ほど申し上げましたが、当時の革命の様子、この間反日デモが起こった武漢ですが、武漢で辛亥革命は起こりました。武昌蜂起が起こりましたときに、梅屋庄吉は自分の映画会社の撮影隊を武漢に送り込んでいるのですね。そして、この辛亥革命の様子を動画として撮っております。これは辛亥革命の唯一の動画として残っている貴重なフィルムです。

後に、孫文先生が日本に亡命されたときに、孫文先生だけにこのフィルムをお見せしました。そして、このフィルムを孫文先生にさしあげたのでしょうね。今、中国のCCTVという中国で言うNHKみたいなメインのテレビの会社がありますが、そこに保管されています。これは唯一日本人が撮った記録が、中国の革命の唯一の証拠でございます。それだけ辛亥革命というのは、本当に日本人が深く深く携わっていたということなんですね。

革命ですから、清朝政府を倒すのですから、何が必要かというと、武器が必要なわけですね。武器をあなたは輸入する係ですよという委任状とか、実際の武器の注文書などが残っております。

孫文先生の妻 宋慶齢とトクさん

『宋家の三姉妹』という映画も非常に流行りまして、皆様も宋家の三姉妹はお聞きになられたことがあると思います。宋家の3人の姉妹で「ひとりは財を愛し、ひとりは国を愛し、ひとりは権力を愛した」と言われる三姉妹でございます。お父様のチャーリー宋（宋嘉樹）さんは、孫文先生の非常に熱烈な支援者でございました。この次女・宋慶齢は孫文の妻になります。

こちらにピアノの写真がございまして、このピアノは、今も日比谷公園の中の松本楼の玄関を入ると、本物が置いてあります。宋慶齢さんはこのピアノを非常に弾いて楽しまれました。このピアノは、今、日本でつくられた最古のピアノで、日本に2台しか残ってないと言われています。ヤマハさんからも、非常に貴重なものだから、大事にしてほしいと言われています。

孫文先生と宋慶齢の結婚式の写真ですが、二人の隣に座っている日本の女性は梅屋庄吉の奥さんです。トクといいます。トクは壱岐出身で、非常にしっかりした女性で、このトクなくしては孫文先生・宋慶齢の結婚もなかったと思われますし、庄吉がいろいろなことをやっていたことも、全部このトクが一緒になって支えていました。トクなくしては庄吉の偉業もできなかったであろうと言われるぐらい、このトクは非常に肝っ玉母さんというか、体も大きくて立派ですけれども、器の大きな女性だったと聞いております。

アジアはアジア人同士手を結んで

梅屋庄吉は、中国大陸だけではなくて、フィリピンの革命の中心的な役割をしたアギナルドさんとも親交があって、フィリピン革命にも参戦しております。インドの独立運動で有名なのはガンジーさんですけれども、ガンジーさん以外にも、当時、日本は明治維新を成功させているので、アジアのいろいろなところから革命家が日本に学びに来ていました。彼らはインドの革命家です。みんな日本に来て、梅屋たちと会ったり、梅屋は、インド人たちを孫文先生に引き合わせたり。つまり、それぞれみんなきちんとした形で独立して、アジアはアジア人同士手を結んで頑張ろうというような庄吉の活動のもとに、こういったインド人の皆様も集まっていたというようなことでございます。

革命は現体制を壊す、理想の自分たちの社会をつくろうという、非常にもともとはロマンチックな考え方もあるとは思うのですが、梅屋庄吉はそういうロマンを持っていただけではなくて、実は、自分たちの理想を実現するためには何が必要なのか。つまり、お金がないと何もできないというところをちゃんとわかっていました。梅屋庄吉はロマンチストであり、しかも、リアリストでもあったということが言えると思います。理念や理想に掲げただけではそれは実行できない。実行するためには、人を動かす、そして、人を動かすためには資金が必要だということを梅屋庄吉はわかっていて、そのために奔走していました。

孫文先生の銅像

孫文先生の死後、孫文先生の銅


日比谷松本楼にて

像をつくって贈ろう。それは、映画人の梅屋らしい発想で、孫文像を4体つくって中国に贈ります。

この4体は、今でもすべて中国に現存しております。本来ならば、文化大革命のときに、日本人が贈った孫文像は、一番攻撃の対象になるものだったのですが、そのときに、時の首相周恩来先生が梅屋庄吉のことをよく知っていて、「これは日本人梅屋庄吉先生から贈られたものだから、絶対壊してはいけない」という命令を銅像が置いてあるところへ出されたわけです。それで守られて、南京の中山陵、広州の中山大学、孫文先生がつくった黄埔軍艦学校、そして、マカオの国父記念館と、すべて現存しております。

そして、次に梅屋庄吉が考えたのは、映画人ですから、『大孫文』という映画をつくることでした。当時、日中関係がかなり悪くなっているときです。日本人と中国人が協力して孫文先生を支えていたのだよということを映画にして、日中双方に見せれば、もう一度お互いを助け合うほうに気持ちが向かうのではないかと思って、梅屋庄吉はこの映画の企画を立てました。当時、蒋介石先生が中国のトップでした。この映画について、蒋介石先生の許可まで得ていましたが、これを企画したときは、満州事変が起こり、撮影ができなくなりました。非常に経済状況も悪い中で、この映画は未完の映画となったわけでございます。

そうこうして、中国の蒋介石先生始め要人たちとつき合っている梅屋庄吉には売国奴の嫌疑がかけられます。梅屋庄吉は一緒に革命をやっていたので、当然南京政府の皆さんと親しいわけですね。その交流関係から売国奴として、憲兵隊に二度ほどつかまります。そのときに、非常に大事な当時の革命の資料とかも全部押収されて、本当に私の手元に残っているものはごくわずかなものです。このときに、梅屋庄吉は非常につらい思いをしました。

そして、それにも負けずに、梅屋庄吉は、軍部がそういう状況ですから、今度は外交で、自分は蒋介石先生とのパイプがあるから、広田外相を通じて何とか日中和平の道ができないものかということで、広田外相と面談します。2回ほど会って、3回目に広田外相に会いに行くために、千葉の別荘から東京に向かうための駅頭で倒れました。気持ち半ばで梅屋庄吉は倒れて、胃がんで亡くなりました。65歳でした。亡くなったときの新聞報道は「支那の慈父梅屋庄吉」とか、「革命の恩人梅屋庄吉」とか、このように報道されています。当時、実は梅屋庄吉の言動は、日中双方の新聞にすごく報道されていたぐらいの人物だったのですね。

人の世は持ちつ持たれつ、もろともに助け合うことが人の道なれと

梅屋庄吉が、なぜ自分の財産を全部投げ打ってもアジア平和のために尽くせたのか、信条は何だったのかということが皆さんよく私に聞かれます。人の世は持ちつ持たれつ、もろともに助け合うことが人の道なれと。この言葉を日記にたびたび書いてあります。ですから、そういう気持ちで、助け合うのが人の道だというふうに自分に言い聞かせて、そういう信条を持って、それを貫いたわけでございます。

梅屋庄吉の日記が13冊ほど遺っております。細かいお金の出入りから、中国要人とのやりとり、そして、今申し上げたような、自分の思いとか信条をたくさん書いてあるものが残っております。

そして、その後、江沢民さんとか、今の首相の温家宝先生など中国のトップの要人たちには、この歴史はずっと語り継がれて、彼らは全部知っているわけですね。こういう日本人がいたこと、この歴史のことを知っていて、代々私どもとも交流がございます。

2011年、梅屋庄吉と孫文のこの友情のストーリーが映画化されることが決まりました。その折には、また、長崎県の皆様の宣伝ほか、是非ご協力をお願いしたいと思います。本日は、どうもありがとうございました。【拍手】

（写真・宅島正二）



むぎ焼酎発祥の地

「歴史の島」「伝統の味」



松永安左エ門翁（まつながやすざえもんおう）

720㎖（43度）

2010年度モンド・セレクションにおいて、「壱岐オールド」は3年連続、「松永安左エ門翁」は2年連続で最高金賞（グランド・ゴールドメダル）を受賞しました。



壱岐オールド

720㎖（25度）



壱岐スーパーゴールド22

720㎖（22度）

本格焼酎

◎お酒は20歳になってから。◎お酒は適量を
◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう

むぎ焼酎 壱岐 **玄海酒造株式会社**

代表取締役会長　山内　賢明　　代表取締役社長　山内　昭人　　専務取締役　山内　博達

〒811-5125　長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触550-1　TEL.0920-47-0160　FAX.0920-47-0211

www.mugishochu-iki.com

壱岐麦焼酎

かめ仕込み 山の守

有限会社山の守酒造場



本格焼酎

720㎖（25度）

◎お酒は20歳になってから。

代表取締役会長　山内　賢明　　代表取締役社長　山内　昭人　　専務取締役　山内　博達

〒811-5125　長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触85　TEL.0920-47-0301　FAX.0920-47-0384



McCafé®

| CAFÉ LATTE Ⓢ¥190 | CAPPUCCINO Ⓢ¥190 | CAFÉ MOCHA Ⓢ¥250 |
| CARAMEL LATTE Ⓢ¥250 | PREMIUM ROAST COFFEE Ⓢ¥120 |

※商品や販売店舗の詳しい情報はマクドナルドウェブサイト http://www.mcdonalds.co.jp でご確認ください。

i'm lovin' it®